

スマートシティ戦略部・令和3年度部局運営方針

令和3年度はコロナ禍による新たな生活様式と国のデジタル庁改革を踏まえ、①都市免疫力の強化、②従来型公民連携方式の見直し、③政府のデジタル政策との連携に軸足を置き、次のテーマに重点的に取り組みます。

重点テーマ1：「健康と命」をテーマとした世界トップレベルのスマートシティモデルをめざす

「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマの2025年大阪・関西万博までに、高齢化社会のスマートシティモデルで世界のトップランナーとなることをめざし、関連事業を推進します。

〔主な取組み〕

- スマート・シニア・ライフ事業のR3年度スタート：高齢者に使いやすい設計で、行政&民間オンラインサービスをワンストップで提供
- スマート・ヘルス・シティ事業のR5年度スタート：健康寿命の延伸をめざし、健康、医療、生活データの利活用の仕組みを確立

重点テーマ2：公民共同エコシステムによる地域課題解決プロジェクト等の推進

大阪スマートシティ・パートナーズ・フォーラム(R2.8設置)での公民共同エコシステムの基盤をさらに充実するとともに、市町村と民間による地域課題解決プロジェクト等を推進します。

〔主な取組み〕

- 公民共同エコシステムの基盤である大阪スマートシティ・パートナーズ・フォーラムへの企業参加の拡充
- 市町村と民間の複数同士の組み合わせ(n対n)によるプロジェクトの充実・拡大
- 市町村と大阪府で構成する連絡会議及び市町村へのアドバイザーによる助言や補助金等を通じて、システムの共同調達や標準化等の市町村のデジタル化を支援

重点テーマ3：大阪府版デジタル庁としてのデジタル改革の加速

国のデジタル改革と歩調を合わせ、府スマートシティ推進本部の役割と大阪市との連携を強化し、デジタル改革を推進します。

〔主な取組み〕

- 知事をトップとする推進本部体制を強化し、スマートシティ戦略部の知見・ノウハウを活用した積極的な支援により、オール府庁のデジタル改革を後押し
- 大阪市との連携をさらに強化し、「スーパーシティ」の実現とその基盤となる「都市OS」の構築を進めるとともに、大阪市の先進的取組の府内自治体への横展開及び広域化を推進
- 行政手続きの棚卸調査を踏まえた行政手続きのオンライン化の推進